都城東高等学校広報紙
東の風

校訓
誠実をもって進んで実践する人

3つの柱
国際化に対応できる人材の育成「グローバル教育」
日本人としての人格の育成「礼節道徳教育」
職業教育による本物の人材育成「デュアル教育」

都城東高ってどんな学校

「英語が使える生徒」を育成

2年特進は75%が2級合格
全員が英検にチャレンジ

本校では、「使える英語」をキーワードに全校生徒が実用英語技能検定「英検」に挑戦しています。またクラスに目を向けると英語圏の留学生が多数在籍、英語が身近にある学園生活が実現しています。ここには、さまざまな英語の図書を取りそろえた「英語図書館」があるのをはじめ、英語の映画やミュージックビリップです。

検定

英検を実施している日本英語検定協会によると、検定は中学1年生レベル（5級）から、母語（幼少期から自然に習得する言語）同様に使えるネイティブレベル（1級）まで準2級、準1級を含む7段階があります。

本校では、今年から全員が個々のレベルに応じて年3回の検定試験に挑戦しています。3級からは面接試験もあり、話す力も試されます。

■2年生で2級合格

試験は、1次（筆記とリスニング）と2次（面接形式のスピーキングテスト）があります。11月4日は今年2回目の検定2次試験がありました。本校からは2年生（136人）の1次合格者20人が各級に挑み、高校卒業レベルとされる2級に1人、準2級（高校の標準英語レベル）に2人、3級に16人が合格しました。この結果、特進コースの2年生はクラスの75%が2級に合格しています。

来年1月25日には第3回目の検定試験があります。1年生全員（197人）が初挑戦します。また1次試験で涙をのんだ2年生も再挑戦します。担当教諭は「真の英語力を身につけさせて卒業させます」と話しています。

英語の授業を行うジーン・マイダー先生（右）

環境

本校では、英語が身近にある学園生活を実践するため、生きた英語を学べるイングリッシュセンターを設立、1教室を英語村「ヴィラ」としてオープンさせています。ここには、さまざまな英語の図書を取りそろえた「英語図書館」があるのをはじめ、英語の映画やミュージックビデオなどを観賞できる「AVエリア」、スピーチや歌、ダンス、芝居などが行える「劇場」、ネイティブスピーカー（英語を母語とする人）による1対1の英会話レッスンを受けることのできる「チュートリアル（個別指導）エリア」などがあり、まさに足を一歩踏み入れることで外国（英語圏）にタイムスリップです。

ヴィラの楽しさをアピールする留学生ら

■生活の中に英語がある

2015年5月からは、フィリピンの大学からの教育実習生（ST）を年2～3回受け入れているほか、アメリカやイタリア、フィリピンなどからの留学生受け入れも行っています。

今年度の留学生はフィリピンから普通科に女子7人、自動車工業科に男子3人で、STや日本人の生徒とともに寮生活をしています。校内では先生、級友として、寮では共同生活者として生徒の隣に常にネイティブスピーカーとしています。生活の中に英語がある。そんな3年間が本校の英語環境です。

フィリピン、アメリカ、カナダの提携校への海外語学研修（3カ月、6カ月、1年）は2014年以来、続いています。

竹之内さん（普通科・3年）が九高理研究発表大会へ

自作の測定器で実験する竹之内夏姫さん

普通科3年の竹之内夏姫さん（高崎中出身）が来年2月、佐賀県で開催される「九州高等学校生徒理科研究発表大会」に県代表で出場します。大会は、九州各県の高等学校理科教育研究会などから推薦を受けたクラブまたは生徒が出場します。

竹之内さんは物理部門に「エアコンのフィルター清掃」でエントリーしました。毎学期末に行っている教室のエアコン清掃がきっかけで、「フィルターのごみをはがすには、どれだけの力が必要か」など、滑車を使った測定器を自作して実験を繰り返しました。指導にあたった田中満雄教諭は「研究の着眼点、物理的なはく離方法の測定などが良かったと聞いている」とし、竹之内さんは「九州大会ではさらに完成度を高め発表したい」と意気込んでいます。

山之口小家庭教育学級生が来校

都城市立山之口小学校の家庭教育学級の保護者8人が9月11日、本校を訪問されました。

「（都城東高は）普通科のほか、商業系（総合ビジネス科）、調理科、自動車工業科、看護科とさまざまな学科があり、（子供が）進路選択をする上で参考になる」（東真理子学級長）と話されていました。

初めに一行は、山之口中学校出身の各学科の1年生から授業や学校生活についての近況報告を受けました。一生懸命説明する姿に、保護者の一人は「知り合いの子供さんが頑張っている姿が見られてうれしかった」と好評でした。

10年後の私は。
～私たちの夢～

カッコ内は出身中学校

教員

普通科（スポーツ）3年
則松　空さん

一生懸命勉強して、人を成長させる教員になっています。（沼中）

公務員

普通科（スポーツ）3年
上杉 茉梨香さん

市役所の職員として地域の人々と一緒により良い街づくりに務めています。（西階中）

管理栄養士

普通科（スポーツ）3年
山口 愛実さん

ソフトボールで培ったガッツで人のために働く管理栄養士となっています。（延岡南中）

調理師

調理科 3年
有村 直也さん

和食の調理師としてお客様に喜んでもらえるよう日々精進しています。（姫城中）

実業家

調理科3年
畠中 駿矢さん

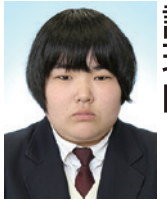
実業家として一生懸命仕事をして大きな家に住んでいると思います。（小林中）

調理師

調理科 3年
横田 淳来さん

料理人としての腕を上げ、おいしい料理を作っていると思います。（庄内中）

調理師


調理科3年
四本 真奈美さん

調理に携わっていると思いますが、しっかりと自立して、人に役立つ大人になっています。（霧島中）

整備士

自動車工業科 3年
坂ノ上 素直さん

整備士として誇りと使命感を持ち、車の整備に務めています。（妻ヶ丘中）

整備士

自動車工業科 3年
樋渡 慎也さん

軽自動車から大型車両まで扱うお客様に信頼される整備士になっています。（西中）

校内行事

【12月】1日（土）ウインターセミナー（午前9時～正午本校視聴覚室）本校受験の中学生のための入試対策勉強会。8日、15日、来年1月5日▽8日（土）高校生レストラン（午前11時～午後2時よかもんや、定食800円）▽15日（土）調理科卒業作品展（体育館）▽21日（金）終業式

発行：学校法人豊栄学園都城東高等学校〒889-1996宮崎県北諸県郡三股町大字樺山1996番地　TEL：0986-52-1010　FAX：0986-52-1011　都城東　検索

連載 私たちの東高 StudentVoice

未来開く5学科

テーマ 授業

各学科の特徴をそれぞれの学科生が自分の言葉で紹介します。（敬称略）

■総合ビジネス科

1年　上西窪　歩夢（三股中出身）

私たちの科ではビジネスの基本となる経済学の知識や資格取得をベースに企画力、実践力、プレゼン力を学んでいます。

以前、理科の授業で「太陽の光は地球に届くのに約8分かかる」と教わり、地学や物理に興味を覚え、今、私の中では科学がとても面白いです。ほかにも、簿記やワープロなど、総合ビジネス科生として面白い教科がたくさんあり、さまざまな資格取得に向けて勉強中です。社会に出て、即戦力として期待される人間を目指します。

■普通科

1年　福島　メイ（小林中出身）

私が所属する普通科・総合進学コースは大学から専門学校まで自分の可能性をとことん追求するコースです。

私は英語が大好きで、将来は英語の先生になりたいと思っています。好きな授業に「コミュニケーション英語」という時間があります。ゲームや会話を楽しみながら英語力を身につけていくので50分という授業時間がアッという間に過ぎてしまいます。

卒業までに英検1級の取得を目指ざし頑張ります。

■調理科

1年　堀内　保孝（霧島中出身）

調理科では実際に料理を作る調理実習があります。実習内容は学年によって違い、1年生は和食、2年生は洋食、3年生は中華、総合調理（病院食や給食）となっています。

私は魚をさばくのが好きで、将来は和食調理人になっておいしい料理をたくさんの人に食べてもらいたいと思っています。

先日は実習の一環でフグのさばきかたを先生が見せてくれました。内臓などに含まれる毒を避けるために頻繁に流水を使うなど、勉強になりました。

■自動車工業科

1年　長峰　大陸（三股中出身）

私が自動車工業科への進学を決めたのは、中学時代の職場体験が自動車会社だったことです。小さい時から機械をいじるのが好きで、おもちゃなどもよく分解していました。

授業では、工具の使い方などを勉強していますが、選択科目でエンジンの分解などがあり、楽しく実習に臨んでいます。

2年次に、上級学校へ進み2級自動車整備士を目指すか、重機などの整備にあたる機械整備コースかの選択があります。私は2級整備士を目指します。

■看護科

1年 四季 洸太郎（五十市中出身）

病気で苦しんでいる人を支え、やさしく励ます看護師の母の姿を幼いころから見て育ちました。進路は迷うことなく看護科でした。

新しい建物の中に看護実習室があり、病院と同じベッドが並んでいます。ここで血圧測定や医療器具の取り扱い方などを学ぶので実習は、看護師を意識する瞬間です。ほかにも、住宅の台所や和室もあり、生活の中での看護・介護の実践も積むことができます。

一人前の看護師となり、長く人のために働きたいと思います。

舞台発表や特別講演でにぎわう おがたま祭

文化祭「第44回おがたま祭」は11月4日(日)、5日(月)の2日間にわたって本校と都城市総合文化ホールでありました。

「地域との交流」を柱にプログラムは組まれており、今年も大勢の地域の方々が来校され、生徒の舞台発表や趣向を凝らした学科独自のイベント、出店などを楽しまれました。初めての取り組みでしたが、中学生の英語スピーチコンテストも盛会に終了できました。

5日の市総合文化ホールでは、駐日サンマリノ共和国特命全権大使マンリオ・カデロ閣下の「日本人が気づかない日本のいいところ」と題しての特別講演があり、講演後には、カデロ閣下の著書「世界が感動する日本の当たり前」を読んでの感想文表彰もありました。

講演するマンリオ・カデロ閣下

午後からは、各科対抗の合唱コンクールや生徒有志によるダンスや歌の披露がありました。

来校者でにぎわう調理科の屋台村

中学生の英語スピーチコンテスト

看護科のハンドマッサージ

総合ビジネス科の野菜販売

自工科の愛車点検・清掃

吹奏楽部の演奏

普通科の黒板アート

学科対抗合唱コンクール

英語スピーチコンテスト

部活動生による創作ダンス

恒例のももクロパフォーマンス